

平成26年度 第3回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成26年7月15日(火) 14:00~16:00
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 13名
事務局 中央公民館長、館長補佐兼事業担当係長、管理担当係長、
分館担当係長 9名
- 4 傍聴者 2名
- 5 配布資料 (1) 平成26年7月1日付人事異動・・・・・・・・・・ 資料1
(2) 平成26年度公民館定期講座実施状況・・・・・・・・・・ 資料2
(3) 平成26年度公民館まつり開催報告・・・・・・・・・・ 資料3
(4) 空き部屋の当日申し込み(試行)の実施・・・・・・・・・・ 資料4
(5) 東京都公民館連絡協議会 役員会・・・・・・・・・・ 資料5
(6) 東京都公民館連絡協議会 職員部会・・・・・・・・・・ 資料6
(7) 東京都公民館連絡協議会 委員部会・・・・・・・・・・ 資料7
(8) 公民館利用団体一覧の取り扱いについて(諮問、答申)・・・ 資料8
(9) 平成26年度第2回小平市公民館運営審議会会議要録・・・・ 資料9
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 平成26年度公民館定期講座実施状況について
(3) 平成26年度公民館まつり開催報告について
(4) 空き部屋の当日利用申し込み(試行)の実施について
(5) 平成26年度東京都公民館連絡協議会役員会・職員部会・委員部会
報告について
(6) 公民館利用団体一覧の取り扱いについて(諮問、答申)、その後の
状況
(7) 公民館の情報発信機能の整備についての意見交換
①各団体が持ち込むチラシやポスターの取り扱いについて
②ホームページ
③公民館だより など
(8) その他

会議の概要

1 館長報告

(1) 7月1日付人事異動について

館長より資料1について説明した。

(2) 新仲町公民館・図書館の補正予算と予算総額について

小平市議会6月定例会において、公民館に関連した一般質問は特になかった。また、6月10日の総務委員会において、補正予算案の審査が行われ、新仲町公民館・図書館の工事請負費の増額補正があった。公共工事の設計労務単価の上昇により7千114万5千円増額となった。審査結果については全会一致で採択されたため予算化され、建て替えにかかる諸経費は総額約9億5千万円の事業となった。

(3) なかまちテラス リンクスプロジェクトの実施について

「なかまちテラス リンクスプロジェクト」のチラシにより概要を説明した。

(質疑応答)

委員 中央公民館の意見交換会に出席して、事業担当の方はすばらしいと、評価されていた。事業担当の話がでるときは、オブザーバーとして、中央公民館の事業担当の方も公運審の会議に出てほしい。「リンクス」の名称は誰が考えたのか。市民グループが考えたのならいいが、そうでないなら、最初から行政がやっている印象がする。

事務局 「リンクス」は事業担当の職員が名付けた。

委員 なかまちテラス リンクスプロジェクトでワークショップをするということだが、ファシリテーターは誰がやるのか。

事務局 ワークショップのファシリテーターは公民館職員が行う。

委員 職員の方だと、要求ばかり出やすくなるのではないか。ファシリテートは、難しいと思うが、かなりトレーニングされているのか。

事務局 社会教育主事の講習を受けている。

委員 新仲町公民館・図書館の予算額について、市民に知らせるのか。当初の計画だと半分ぐらいの金額でできる予定だったと記憶していたが、増えた理由について

て市民に改めて説明しないのか。

事務局 説明はしないが、予算についてはホームページで公表している。

2 平成 26 年度公民館定期講座実施状況について

事務局より資料 2 について説明した。

(質疑応答)

委員 仲町公民館のジュニア講座は「七宝焼き」と「マグカップ」だったが、七宝焼きは、あまり子どもに馴染みがないようなので、よほど分かりやすく説明しないと、応募が少なかったのではないかと思った。

委員 自分の子どもにマグカップの講習会を受けさせたかったが、日程の都合で七宝焼きの方に参加した。チラシでは全然分からなかった。

委員 土曜日や日曜日の講座などいくつかあり、新しいと思った。土曜日に保育付きの講座があるのは、前回お願いしたことを実施していただいた。鈴木公民館の「ママとベビーのヨガリラクゼーション」は非常に人気がある内容と思ったが、定員に対して受講が少ない。やはり土曜日ということで受講者の傾向が平日と違うことがあるか。

事務局 受講者の傾向について、特に大きな変化は感じていない。実際に初回の時、「土曜日は出席しづらいか。」と受講者に聞いてみると、「どちらでも大丈夫だ。」「土曜日でよかった。」という声があった。

委員 公民館の機能や課題などについて、最近の利用率の低下などが指摘されている。26 年度はそういうことを反映した内容になっているのか。

事務局 男性の利用者が少ないので、男性を惹きつけるものとして、今回、男性の料理講座を開講した。料理は、昨年の意見交換会でも出た意見で、今回反映させた。家庭教育講座については、母親と子どもと一緒に参加できる講座を増やしている。高齢者学級については、昨年から全分館で実施することになったが、引き続き高齢者学級を分館で行うことで、地域の高齢者のニーズに応える。

委員 何かを作る講座については、チラシとともに公民館の目立つところに見本があ

るとイメージしやすいと思う。よく作るものについては、作品を展示することで受講者の意欲が上がる。公民館には作った作品を展示することはあるのか。

事務局 学習成果発表展や公民館まつり、館によっては、講座が終わってから1週間程度展示することがある。

委員 今年度は、諮問はあるのか。

事務局 昨年度、公民館のあり方検討に関する報告書を公運審の意見を参考に作成したので、今後はそれに沿った形で地域との連携を図っていくことについて諮問のテーマとして検討している。正式には9月にお願いする予定。

委員 男性利用者を増やすことが、今年工夫されたところだが、それが講座に反映されているのはよいが、参加されている方はほとんど60歳以上か。

事務局 大沼公民館「男の料理」「マジック入門」は、高齢者学級として実施していることもあり、概ね60歳以上を対象に募集をした。60歳代から80歳代までいるが、70歳代が一番多い。津田公民館「男飯」は、サタデー講座として、あえて夜間に実施し、50歳代から70歳の15名の応募があった。小川公民館「60代の男性に贈る、やさしいランチの作り方」は、高齢者学級として60歳以上を対象に募集している。

委員 今、30代～40代の男性というかパパというか、シングルファーザーの方がいたり、事情があって一人でいたりするので、そういう男性が料理をつくれるようになるということは自立に向かっていくのではないかと。もし、今後またこのような講座があれば、30代～40代の応募があるといいと思う。

委員 「家庭教育講座」は、母子での参加が前提となっているようだが、父子で参加できるものを開設してはどうか。対象は母と子に限定しているのか、父からの問い合わせや申し込みはないのか。

委員 過去に花小金井南公民館で父子を対象に実施したが、応募者が少なかった。「家庭」というと母子をイメージされるが、父子でもかまわない。

事務局 前期、中央公民館で土曜日に開催した講座は、夫婦での参加があった。父親の参加もあることはある。

委員 仕事をしている父親が、平日全 10 回の講座に出席することは難しく、未就学児と母親の参加が多くなるのではないかと。制度上可能であれば、例えば、2 回は父子、8 回は母子での参加にしてはどうか。

3 平成 26 年度公民館まつり開催報告について
事務局より資料 3 について説明した。

(質疑応答)

委員 仲町公民館まつりに行った。子どもにとっては、模擬店くらいしかないと思っていたが、絵手紙・キーホルダーづくりがあったので、楽しめて良かった。展示や発表だけでは、子どもは飽きてしまうので、まつり等の催しでは、材料費等がかかっても、参加体験型のコーナーを作してほしい。

委員 上宿公民館まつりでは、地域の小学生と中学生の参加があり、公民館が地域の交流の場になっていると感じた。

委員 花小金井南公民館まつりは、暑い日中は来場者が少なかったとのことだが、暑い中でも、くちぶえのコンサートはとてもさわやかだったし、バザーもほしいものがたくさんあり、とても満足度の高い公民館まつりだった。来場した地域の人もとてもあたたかく、駐車場が確保されていたので、遠方から来場した人にとっては助かったと思う。

4 空き部屋の当日利用申し込み（試行）の実施について
事務局より、資料 4 について説明した。

(質疑応答)

委員 当日利用できる条件に、「利用登録を済ませている団体」とあるが、できれば、「利用登録を済ませている団体および登録予定の団体」としてもらえないか。政府でも盛んにベンチャービジネスを立ち上げさせようとしている動きがある。私が NPO を立ち上げた時には、場所を借りるお金がなかったという経験があるので、団体を立ち上げたいと考えている人を前向きに応援してはどうだろうか。

事務局 団体登録は、身分証さえあれば、即日できるものなので、当日利用したいと来館した時点で身分証を確認して団体登録してもらうようになる。

委員 門前払いということはないのか。

事務局 それはないが、ただ、その場限りではなく、継続的に活動をしてほしい。

委員 1回利用して、あとは利用しないという利用の仕方ではいけないのか。

事務局 登録団体数は公民館利用団体数として、統計的にあらわれる。ただ、部屋を借りたために登録するのと、利用団体として活動するのとは異なると認識している。

委員 利用団体として活動することと、単発だけでも部屋を利用して活動する違いはどんなところにあるのか。

事務局 基本的に公民館は団体が継続的な学習活動をするために利用できる施設なので。

委員 当日部屋が空いているのなら、ただ空けておくよりも、利用してもらう方がよいのではないか。

5 平成26年度 東京都公民館連絡協議会役員会・職員部会・委員部会報告について事務局、委員より、資料5から7について説明した。

5月21日に第1回役員会が行われた。第55回関東甲信越静公民館研究大会及び第56回関東甲信越静公民館研究大会についての内容調整を行った。第56回関東甲信越静公民館研究大会は小平市が会場となる。職員部会の研修担当から職員部会の研修に委員の参加も可能かとの質問があり、内容によっては、可能とのことであった。

6月19日に第3回職員部会が行われた。第56回関東甲信越静公民館研究大会の大会趣旨文やシンポジウムの内容について話し合い、情報交換をした。基調講演の依頼者については、次回に持ち越しとなった。

5月28日、6月25日に、第2回、第3回委員部会運営委員会が行われた。第1回研修会（7月19日福生市）についての内容調整及び情報交換をした。

6 公民館利用団体一覧の取り扱いについて事務局より、資料8について説明した。

7 公民館の情報発信機能の整備についての意見交換

(1) チラシやポスターの取り扱いについて

委員 チラシは見やすくなったが、まだまだ改善の余地があると思う。

事務局 今後検討する。

委員 例えば、催し物の何日前から受け付けるなどチラシ・ポスターの受け付けのルールを整備してほしい。

事務局 受け付けから一定の期間で下げている。

委員 長く掲示してもらうために策を講じる人が出てくるので、しっかりとしたルールを考えてほしい。

委員 パンフレットは平らに置いてあると、見にくく、取る気もしない。ペットボトルなどを考えてみたらどうか。

事務局 今後検討する。

(2) ホームページについて

委員 公民館利用規約などはあるが、利用する側がほしい情報がなく見づらい。

事務局 もっと見やすくなるよう、庁内のホームページ検討会などで意見しているが、市全体的なことなので難しい。

委員 チラシやポスターをインターネットにのせてほしい。

事務局 公民館主催講座は掲載している。

(3) 公民館だよりについて

委員 公民館だよりは、新聞に挟んで各家庭に配布しているとか、小学校の児童に配布しているとか、どこで配布しているのか。

事務局 基本的には、公民館の窓口で配布している。市内のその他の公共施設に置いている。

委員 公民館に来ないと手に取れないとなると、公民館を知らない人に公民館だよりを通して公民館を知る機会がない。公民館を広く知ってもらうためには、小・中学校に全校配布するのはどうか。

事務局 今後、配布方法に関してはより良い方法を検討していく。

委員 駅には。

事務局 駅には置いてない。

委員 何部くらい作成しているか。

事務局 おおむね 4000 部作成している。

委員 記事のボリュームがありすぎて、読み切れない。もう少し簡潔に分かりやすくしたほうがよいのではないか。

事務局 今後、部数や中身に関しても検討していく。

その他意見

委員 平櫛田中館と公民館の連携はどう考えているのか。

事務局 地域の社会資源として利用していく。お互い連携をとってうまく活性化できればと考えている。

8 その他

- (1) 講座のための意見交換会について
- (2) 8月の自主研修会日程変更

次回は、9月19日（金）午後2時より、中央公民館会議室にて開催する。